

リン酸塩処理

リン酸塩処理はばね鋼材質の皿ばねの標準的な表面防錆処理です、ばね鋼の表面に厚さ8～10 μmのリン酸塩層を形成させ、塩水噴霧試験で一般的には48時間以内に赤色が生じない、非暴露の使用環境と輸送に適している。防錆に対して比較的高い要求を求める場合は、バレル亜鉛メッキ処理、ジオメット処理またはその他の防錆処理を施す必要がある。



バレル亜鉛メッキ処理

バレル亜鉛メッキ処理は一定の厚さの亜鉛を皿ばねの表面に塗布するもので、通常のメッキのように水素脆化のリスクはありません。メッキ層の厚さは一般的に8～12 μmであり、塩水噴霧試験では一般的に96～144時間以内に赤色が生じないです。



ジオメット処理

ジオメットは完全クロムフリー防錆処理で銀灰色亜鉛アルミニウムコーティングであり、ジオメット処理された皿ばねは塩水噴霧試験において優れた耐食性を示し、水素脆化リスクも発生しない。コーティングの厚さは一般的に8～10 μmであり、塩水噴霧試験は一般的に480～720時間以内に赤色が生じないです。

